

**安倍貞任** 陸奥国の豪族。<前九年の役>を起こして源頼義に対抗、その武勇が人々に強い印象をあたえ、伝説化した。

あべのさだとう

**刀伊来寇**・1019 = 生。安倍頼時の嫡子。

**藤原道長没**・1027 = 8歳：

平忠常の乱始1028 = **9歳**：

・・・・・・1037 = **18歳**：

6尺あまりで良く太った色白の巨体で、容貌魁偉だったという。

・・・・・・1046 = **27歳**：

**前九年の役始**1051 = 32歳：この年\*武勇の誉れ高い源頼義が陸奥守に赴任、安倍一族が朝廷に反乱を起し、父頼時に従う。

天喜荘園整理1055 = **36歳**：

・・・・・・1056 = 37歳：結婚を拒否されたことを恨んで、陸奥権守藤原説貞の子光貞・元貞を襲撃、\*源頼義らと戦うに至り、

・・・・・・1057 = 38歳：\_父頼時が戦死して、安倍一族の総帥となり、黄海(岩手県東磐井郡藤沢町)において頼義軍を破ったが、

**前九年の役終**1062 = 43歳：出羽国の清原氏が頼義軍に加わってからは、小松柵・衣川柵・鳥海柵と敗戦がつづき、本拠の厨川柵(岩手県盛岡市)において\_敗死した。  
源義家が"衣のたてはほころびにけり"とうたいかけ、貞任が"年をへし糸のみだれのくるしさに"とこたえたという故事は、衣川柵脱出のときのことという。